

受付	個人質問	第	号
	令和 年 月 日	時	分

## 一般質問＜個人＞発言通告書

令和6年2月14日

長久手市議会議長 殿

長久手市議会議員 富田えいじ

会議規則第59条第2項の規定により下記のとおり通告します。

	質問事項及び要旨	備考
1	<p><b>市長の公約「古民家移築事業の必要性を市民に問う」について</b></p> <p>1 2月23日に開催された「古民家移築事業意見交換会」では、市民が賛成派、反対派に分かれて対立し、討議するような状況であった。市民同士が戦う場ではなく、市長が市民に意見を問う機会ではなかったのかと疑問に思い、以下質問をする。</p> <p>(1) なぜこのような形にしたのか。</p> <p>(2) アンケートなど、他の方法は検討しなかったのか。</p> <p>(3) 他の事業においても今後も多くの課題があると考えますが、「市民に問う」予定はあるのか。</p>	
2	<p><b>長久手市観光交流協会について</b></p> <p>平成31年4月1日をもって一般社団法人長久手市観光交流協会が設立された。この協会に対し、令和6年度の当初予算にも約2,100万円の補助金が計上されている。しかし、市民及び会員から「協会は何もしてくれない」「会費を払っているが何に使われているのか」「脱会したい」との声が上がっている。</p> <p>(1) 設立から現在まで、毎年度の会員数の推移はどのようなか。</p> <p>(2) 新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、全国各地</p>	

	<p>で観光客が増えている。本市にも観光客を呼び込むため、観光交流協会はどのような取り組みをし、その成果はどのようなようか。</p> <p>(3) 補助金について</p> <p>ア 令和6年度予算約2,100万円の算定根拠はどのようなようか。</p> <p>イ 設立から6年目を迎えるが、いつまで補助金を交付するのか。</p> <p>ウ 市の財政が厳しい中、予算計上するには費用対効果を考慮した事業の検証が必要だと考えるが、観光交流協会への補助金交付は、それに見合う成果が期待されるか。</p>	
--	---	--